

# The Correspondence of Noboribetsu City Nature Center

登別市ネイチャーセンター ふおれすと鉾山  
ニュースレター

# 鉾山 録



えぞしか Illustrated by Hiyama T.

## Contents

# Vol. 19

Jan. 2007

特集	
ふおれすと鉾山がもっと進化する仕組み	2
オープンから 54 ヶ月の活動報告	4
Kozan Hot Times	5
リトル・ヴォイス ～リレーエッセイ～	7
お知らせ	8

# ふおれすと鉱山が もっと進化する仕組み



## ふおれすと鉱山の第貳幕 幕開け前

### 第壹場 本会議之場

平成18年12月15日（金）午後2時。登別市議会本会議。議長「お諮りします。この件については、委員長の報告どおり原案可決することにご異議ございませんか。〔異議なし！と呼ぶ者あり〕異議ないものと認めます。議案第102号については、委員長の報告どおり原案可決されました。（中略）これをもちまして今期定例会に付議されました案件はすべて終了しました。したがって、平成18年第4回登別市議会定例会を閉会します。」

これでネイチャーセンターふおれすと鉱山の指定管理者を「モモンガくらぶ（モモくら）」にする、市と「モモくら」の協定書案が議決されたのである。

### 第貳場 事始め之場

3年前の春、私はモモくら代表（現理事長）の松原氏に「行く行くは、この施設を市民自らが、つまりモモくらが主となって直接管理できるようになるというのはどうでしょうか。いや、きっとできるようになります」と告げた。それは行政と「モモくら」と専門NPOの「ねおす」の三者で実施している事業を見ていると「これはすごいものなんだ」と感じていたから、こうなることは、私には確信に近いものがあったのである。また、全国から視察に訪れる市議会議員らは、行政と「モモくら」と「ねおす」の協働を「先進的協働事例」と口を揃えて感心した。

それだけではない。テレビや新聞などのマスメディアに頻繁に出る「モモくら」が、サービスを受ける側から、サービス提供の担い手として活躍し、能動的な活動と共同作業を通じて、人と人とのふれあいで子どもも大人も安心して楽しめる居場所づくりを実践していることに市民が高く評価した結果が、今回の指定管理者の指定に結びついているのだ。

### 第参場 指定管理者制度之場

指定管理者とは、市民サービスの向上と経費の節減などを目的に、公共施設の管理や運営を、民間の企業や団体に委託する制度を言い、登別市では市民プールや市民会館、総合体育館などに今年度から導入されたことに続き、ふおれすと鉱山も「モモくら」が来年度から指定管理者として管理運営することになった。これが12月15日に行われた議会での決定だ。

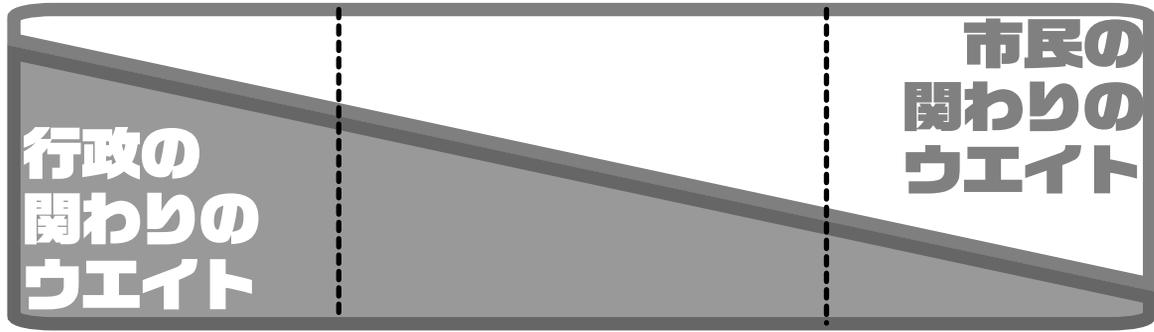
この決定には、市民による「モモくら」が、ふおれすと鉱山が行う事業のノウハウを習得するとともに、自然体験活動に関する指導者の育成や指導者等資格を持つ会員がいて、各種の事業を展開しているという実績から、本来は公募を原則とする指定管理者であるが、市は「モモくら」が効率のよい事業運営が進めることができると判断し、非公募で管理運営を委託することにした経緯もあったのだ。

## 幕間

指定管理者へ委託するといっても、委託料が潤沢に計上されているわけではないので、運営を継続するためには「モモくら」の経営努力がより求められることになる。ふおれすと鉱山は登別市の貴重な観光資源にもなりつつあるから、これを活かした独自の事業展開による利用者増と収入の確保もできるだろうし、ポテンシャル（潜在能力）の高い「モモくら」と多くの市民のアイデアの参画で、ふおれすと鉱山はよりいいものになっていこう。成長した市民の姿である「モモンガくらぶ」と進化し続ける「ふおれすと鉱山」は、いま、新しいスタートラインに立ったところなのだ。

澤田 (General Manager)

# ふおれすと鉱山、市民による運営へ。



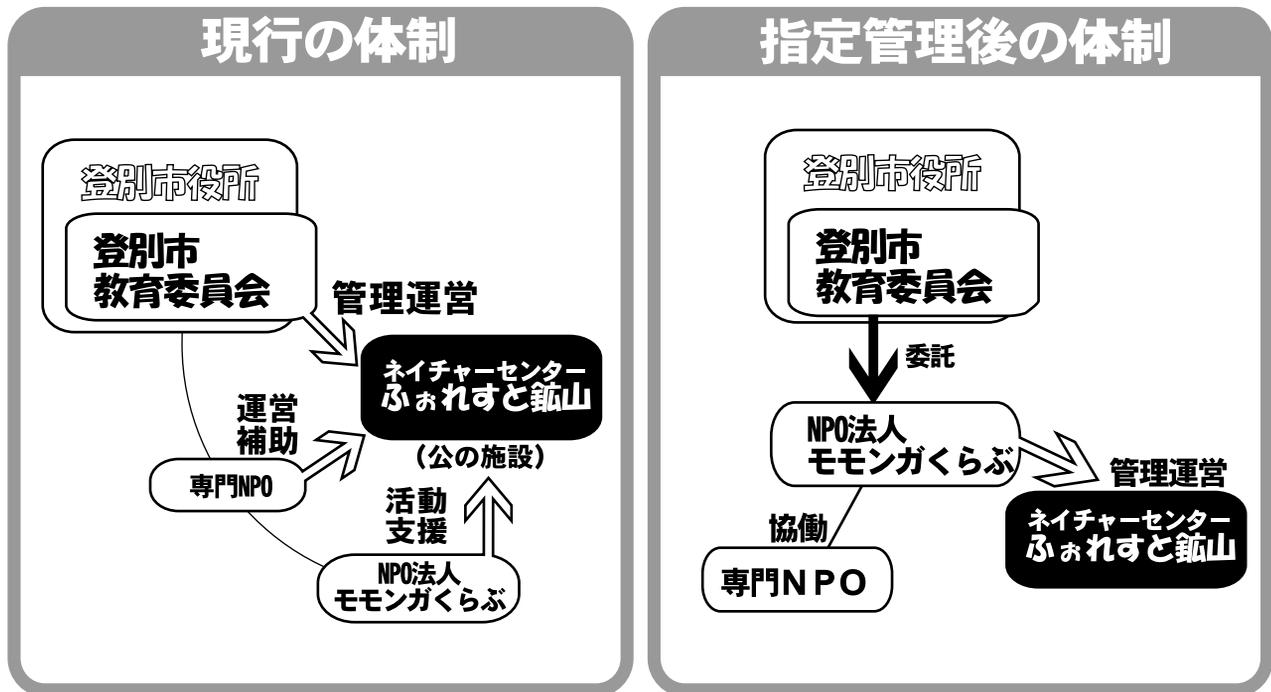
**今までのふおれすと鉱山**  
 行政が運営主体で、専門NPO、モモンガくらぶは補助的な役割。ウエイトとしては、行政が8割、市民が2割だった。

運営のウエイト概念図  
 (鉱山録 No.15より)

**来年度のふおれすと鉱山**  
 NPOモモンガくらぶが運営の母体となり、行政はスポンサーに。ウエイトは逆に行政が2割程度になっていく。

**Q**つまり、ということ??

**A**ふおれすと鉱山は 指定管理者制度へ。



ふおれすと鉱山は、登別市から指定管理者として指定された市民団体NPO法人モモンガくらぶによって運営されることが決まりました。これによってふおれすと鉱山は、本当に市民による市民のための施設として、市民による環境ガバナンスを目指して帆を上げたことになるのです。

ふおれすと鉱山は今、新しいスタートラインに立ちました。

# オープンから54ヶ月の活動報告

## ●ふおれすと鉱山の主催事業

コーザンながぐつレンジャーⅠ・Ⅱ【子どものお仕事体験プログラム】11/19,25

新しく完成した“森のおうち”に通じる歩道を丸太で作ったり、おうちの中も外もきれいにしたり、小さなサクラの木が冬にネズミくんのごちそうにならないように、守ってあげたりと…。ながぐつレンジャーのお仕事はまだまだ尽きません！



こうざんちょう・森のようちえん【幼児の自然体験プログラム】11/12,25

古くなった小屋を暖かくするために、トドマツの森のお世話をしている木こりさんを手伝って、ノコギリで木を切ったり、枝やなが〜いツルを運んだり、枝でふき替えをして、北風にも負けない小屋を作りました。それをきっかけに、子どもたちはその後もとことん森で遊びます。



デカタビレンジャー【森林整備ボランティア】11/18

小春日和のなか、来年の苗木の準備の作業を行いました。キタコブシやホオノキ、ハリギリにアオダモなどなど、来年移植したい木のあかちゃんにしるしをつけたり、苗木を丈夫にするための“根切り”という作業も行いました。「自分たちが楽しむ森は、自分たちでつくるのだ！」

遊歩道オープンセレモニー【ふおれすと鉱山里山プロジェクト】12/3

ついに、遊歩道が完成しました！ふおれすと鉱山の周辺をぐるりとまわれるバリアフリー対応の歩道です。テープカットをしてから、みんなで渡り初めをしましたよ。森の中のさんぽに皆さんも来てくださいね。



鉱山のんびり自然歩き【平日プログラム】11/24

ちょっとびり鉱石や岩石についての勉強をした後に、ぼかぼか陽気の川原を散策しつつ、鉱石探しへと出かけました。普段は気にも留めないようなどこにでもあるような石ですが、みんなで気にしてみるといろんな発見がありましたよ！びっくりするような鉱石の結晶も見つけて、ちょっと興奮気味の散策となりました。

## ●NPO法人モモンガくらぶの主催事業

第3期KoNG演習 「落ち葉であそぼう！落ち葉のコラージュ」11/23

今年のKoNG（コーザンネイチャーガイド）養成講座もいよいよ大詰め。これまでの成果を発揮すべく、受講生自らが企画段階から練り上げたプログラムを実際に提供するという演習に挑戦しました。「秋の素材をつかって、親子で楽しんでもらいたい」という受講生の皆さんの“想い”のこもったプログラムは、参加者の心をつかみ、大成功となりました。



草木染め 11/8

紅葉したもみじの葉っぱや栗のイガという秋の彩りで染めを楽しみました。どんな色になるのか、どんな模様になるのか、思い描きながらの秋ならではの草木染めを、ゆったりとした雰囲気を楽しみました。



冬の森のサロン(1) 11/14,12/15

冬の森のサロンが始まりました。悪天候の中でも、小山を登ったり、下ったり、転んだり、飛びまわったり、森のブランコに挑戦したり、落ち葉に戯れたり、その中から焼きいもを探したり、そしてその落ち葉で焼き芋を焼いたり、森のなかであらゆる感覚が刺激され、子どもは生き生きしていました。

ランプシェードづくり 11/19

自分のセンスにまかせて創作する楽しさに、のめりこんでいる参加者の皆さんでした。出来上がったものは、本当に独創的で、一つ一つ個性があり、表情があり、魅力たっぷりでしたよ。家に持ち帰る表情は、とっても満足げでした。



森のおうち贈呈式 12/3

ふおれすと鉱山のトドマツ間伐材を利用してボランティアの皆さんによって建てられていた“森のおうち”がついに完成し、モモンガくらぶから登別市へ寄贈されました。今後、みんなにとっての楽しい居場所として末永く活躍してくれることでしょう！

## ●受託プログラム・その他の活動（学校対応など）

11月 登別小、胆振地区ボーイスカウト、室蘭養護学校、市外幼児サークル、幌別小、市内幼児サークル

12月 市内幼児サークル



# 雪が教えてくれるもの



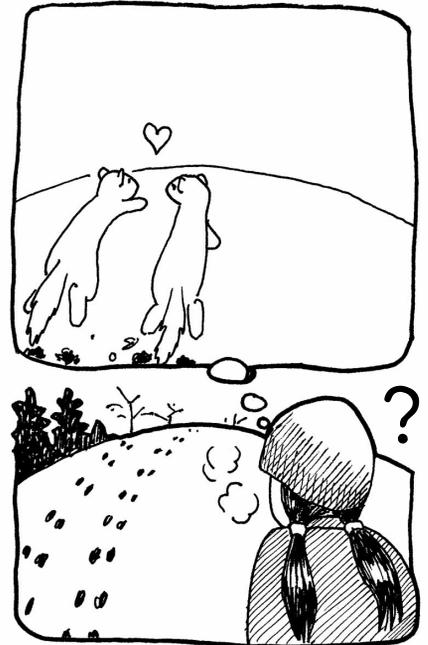
## えんどうめぐみの森のひみつシリーズ①9

アニマルトラッキングという言葉を知っていますか？  
 アニマル（＝動物）トラッキング（＝追跡）で、残された動物たちの足跡から、何の動物か、いつどの方向に向かったか、などを読みとることをいいます。このアニマルトラッキング、積雪期がベストシーズンです。これは、雪には、凍ったり、滑ったり、解けたり、固まったり、白かったり…などなどの特徴があり、その中の『残る』という作用によるものです。そして、雪の上に残るのは足跡だけではありません。

ある月夜の晩に、森へ出かけ、10分前に歩いた場所に戻ってくると、深く落ち込んだ自分の足跡の上を横切るように、シッポの跡がついた小さな足跡がついていました。そのネズミくんの足跡はとても生き生きとしていて、10分という時間のずれをととてもくやしく思いました。雪は、『時間』という証拠も、ときには残してくれます。

また、降り積もる雪は積雪となります。その断面をみると、どんな状態の雪がどのくらい降ったのか、その時に何があったのかなど、太古からの地層のように、いろんな証拠が封じ込められています（ちょっと、話が脱線してしまいました）。

さて、雪降るこの季節！森の中で、動物の足跡を見つけたら、どんな動物か、どこに行ったのか、そこに、もひとつ『時間』軸をいれて、アニマル・ドラマを描いてみてはいかがでしょうか。



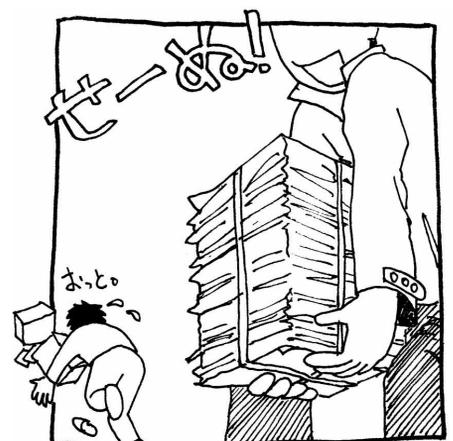
ラブラブだったのかほ。それとも、ケンカしてて奥さんに追いかけてるのかほ。

# ほんねのスタッフ

## ⑮ スタッフへの本音

ふおれすとのスタッフは皆個性的で、一人一人のキャラクターがくっきりと立っている。特にNは人を引き寄せるフェロモンを持っているとまで言われ、目が離せない。たとえば、重いものを持ち上げるときは「セーの」ならぬ「せ〜ぬ」とかけ声をかける。本人曰くフランス風にアレンジしたとのことだ。先日図書館の伝記の整理をしている時、「はい、トンニューー丁！」と威勢のいいかけ声。かの万有引力を発見した偉人すら、Nの手にかかるとは、まるでブタか豆のエキスが入った飲料みたいだ。

訪れる人に楽しんで欲しい、気づきや感動を持ち帰って欲しい、と日々自慢のネタ（？）に磨きをかけているのは、もちろんNだけではない。そんなスタッフたちに囲まれて過ごす山あいでの日々は、とっても味わい深く刺激的なのだ。



力が抜けるのでやめてください

# リレーエッセイ Roots and Shoots リトル・ヴォイス

## ふおれすと鉱山に行くわけ

まゆかり

### 私が鉱山に行くワケ

鉱山へ行く理由はたくさんあります。

- ①自然の中でのびのびと遊べて楽しい。プログラム修了後、一緒に来ていた友人と遊んだことは今でもいい思い出♪
- ②スタッフの方があたたかく迎え入れてくれること。普通の幼稚園では絶対にさせないようなことをどんどん体験させるスタッフがいたこと！
- ③たくさんの人と出会い、年齢を超えてお話ができる。
- ④楽しい雑談

最初の頃は、①と②が来る理由となっていました。毎回来るようになってからは、いろんな楽しみが増え、どんどん鉱山にはまっていきました。

### ふおれすと鉱山での収穫

O：今までは保育環境について学校では勉強したものの、ふおれすと鉱山で「子どもに良い環境とは」ということについて学ぶ機会があり、とても興味がわいたのを覚えています。保育に関係あることが学校以外の所で学べること、又、それを肌で感じて学ぶことができるのは、鉱山の魅力のひとつであると思います。森のようちえんで作詞・踊りを考えた「森のうた」は、保育のひとつとしてとても勉強になりました。また、子どもたちが楽しく体を動かして踊れる雰囲気づくりも大切なのだということ学びました。私が恥ずかしいと思いながらやっていると子どもたちも遠慮さみになってしまいます。こうした実践は将来にもつながっていくと思います。

N：ふおれすと鉱山に来て、子どもだけではなくお母さん方に接することができたことは大きかったです。お母さんたちは自分の子どもと他のおうちの子供を関係なく育てていました。褒めるときも、怒るときもみんな同じに接している姿をみてとても勉強になりました。ふおれすとに関っている人たちは、全員で子育てをしている、そんな印象を受けます。だからこそ、暖かくて居心地の良い場所なのだろうと思います。

### 鉱山に来ている子ども達は…幸せ？！

N：保育の教育目標に「自然体験」という項目があります。実習に出て感じたことは、子どもたちがおんこの実や栗といった目立つものには反応するのですが、その辺に咲いている小さな花やおもしろい形の葉など地味なものには良い反応がないなあということでした。園庭に木が何本か植えられていてもやはり限界があるのでしょうか？ふおれすと鉱山に来る子どもたちは、様々なことを発見して喜び姿が多い。

O：鉱山に来ている子どもは強い。転んでもなかないでいる。遊びに夢中になっている。実習先では、園庭で転んでかすり傷にもなっていないなくても泣き、大事になっている気がします。また、山の中を歩きまわる体力の面でも、森のもつ力はすごいと毎回感じます。毎回、森の幼稚園が終わる程に、子どもたちが大きく成長したように思う。子どもも、自分に自信が持っている、と感じる場面に出会うこともしばしばです。

N・O：だから…こんなステキな鉱山をもっとみんなに広げていきたいな！です。

(文化女子短期大学2年生&森のようちえんサポートスタッフ)



中川結加里&小野田麻由

文化女子短期大学の2年生。昨年、ふおれすと鉱山で行っている幼児の自然体験活動「森のようちえん」のボランティアスタッフとして関わっている。森のようちえんで歌われる「森のうた」の作詞・振付をつくりあげた功労者。子どもたちの健やかな成長を支え見守る先生の卵である。

# EVENT INFORMATION

## イベントチェック

### ふおれすと鉱山主催事業

- 1/12(金)～14(日) 冬休みスペシャルウィーク  
 2/4(日) 冬まつり  
 2/17(土) チカタビレンジャー

### NPO法人モモンガくらぶ主催事業

- 1/20(土)～21(日) わんぱくキャンプ・冬  
 1/25(木) 森の子育てサロン  
 1/28(日) 冬のハイキング  
 2/9(金)～10(土) 森の子育てサロン  
 2/11(日) コーザン流森の子育てフォーラム  
 2/18(日) 歩くスキー  
 3/11(日) 歩くスキー

### 幼児の自然体験活動!

#### もりのようちえん

自然の中でめいいっぱい遊びます。  
 どよう版 1/27(土)  
 2/24(土)、3/24(土)  
 にちよう版 1/28(日)  
 2/25(日)、3/25(日)

### 流れるその汗がかっこいい!

#### ながぐつレンジャー

ネイチャーセンターのお仕事体験。  
 I・II合同開催決定!!  
 1/27(土)  
 2/24(土)  
 3/24(土)

## 冬休み

CHECK IT!!

## スペシャルウィーク

とき **1/12(金)・13(土)・14(日)**

### 冒険からゆったりまで豪華プログラム群

はじめて登場するプログラムが今年はいっぱい。小学生向けのプログラムがとっても充実した冬のスペシャルウィーク。乞うご期待!

### 森のおうちで心も体もホッとあったまろう

この冬完成した森のおうち、ついに大々的なオープンです。木のぬくもりにいだかれながら、ほっと癒される、そんな時間を過ごせるよ。

### 自由あそびだ、森のゆきあそびひろば

自由度の高い遊びが展開できるゾーンもご用意。定番の雪遊びから、いつもより大胆に遊べる場所です。自分のペースに合わせられるよ。

寒いときは、館内で楽しめます休めます

## ボランティアスタッフ 同時募集中!!

お問い合わせ：ふおれすと鉱山まで

地域のみんなでつくるスペシャルウィークの運営スタッフ募集をしています。いつもと違った角度からふおれすとと関わってみませんか?

## コーザン流

NPO法人モモンガくらぶ主催

## 森の子育てフォーラム

ふおれすと鉱山で展開される子育て支援もひとつの区切りをむかえようとしています。自然と子どもがつきあう、そこから見えてきたいろんなステキなことをご紹介していきます。自然のチカラ、子どもの生きるチカラ、大人が支えるチカラ、地域のチカラ…いま大切なことを実際に体験しにきませんか?

進化する自然あそび場オープン!?

2月11日(日)  
10:00～15:00

●対象者  
自然体験活動を介在させた子育ておよび子育て支援、あるいは子育て手法に興味のある方

## HOT NEWS

ふおれすと鉱山ができて5年という年月が過ぎました。永遠の未完成。これからが本当のスタートかもしれません。みんなで作るふおれすと鉱山、これからもよろしくお祈りします!



(佐藤南津子)

## ふおれすと鉱山ご利用のご案内

開館・9:00～17:30 入館料・無料

休館日・毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日が休館となります)

・工作室・図書室はご自由に使っていただけます。そのほかに双眼鏡、歩くスキー、マウンテンバイク、調理台などをご利用いただけます。

## EDITOR'S LOUNGE

ぼんやりしていたら、黒い物体が足元を目にも留まらぬ速さで通り抜けた。なんと、冬ごもり前のねずみ君!!!です。ただの通り道なのか、居つくつもりなのか…分らないけど、こんなところにきちゃって大丈夫なのかしら。この冬、いつも安心とまでは行かないまでも自分が気持ちよく過ごせる場所をちゃんと確保して新しい春に準備できるように健闘を祈ろう。(Y)

## おくづけ

登別市ネイチャーセンター通信誌「鉱山録」 Vol.19

発行：2007年1月

発行所：〒059-0021 北海道登別市鉱山町8-3

電話番号：0143-85-2569 FAX: 0143-81-5808

E-Mail：kouzan@pluto.plala.or.jp

URL：http://www.noboribetsu.ed.jp/~ncenter/